

JAピンネ 新十津川町クリーン米生産組合

高度クリーン米 ななつぼし



令和7年11月

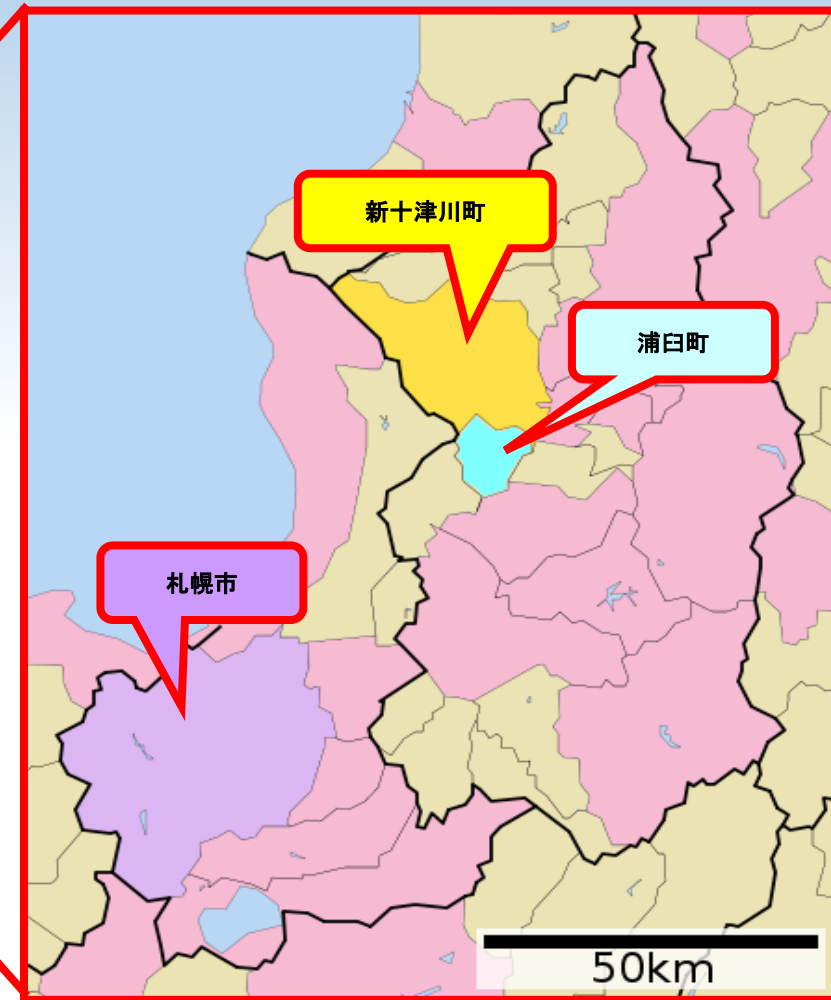
ご 提 案

○部会名	JAピンネ 新十津川町クリーン米生産組合
○品種	ななつぼし
○栽培方法	高度クリーン米
○農薬成分使用回数	5回以下
○化学肥料使用量	5kg/10a以下
○出品数量	6.84トン

J A ピンネ

秋収穫前風景

ピンネシリ



町の基礎データ

(R 7.9 月末現在)

町	人口(人)	面積(km ²)
新十津川町	6,160	495.47
浦臼町	1,545	101.83
合計	7,706	597.30

新十津川町クリーン米生産組合(平成16年設立)

令和7年度組合概要



構成員 : 15名

作付品種 : ふっくりんこ

ななつぼし

ゆめぴりか

栽培方法 : 高度クリーン米

特別栽培米

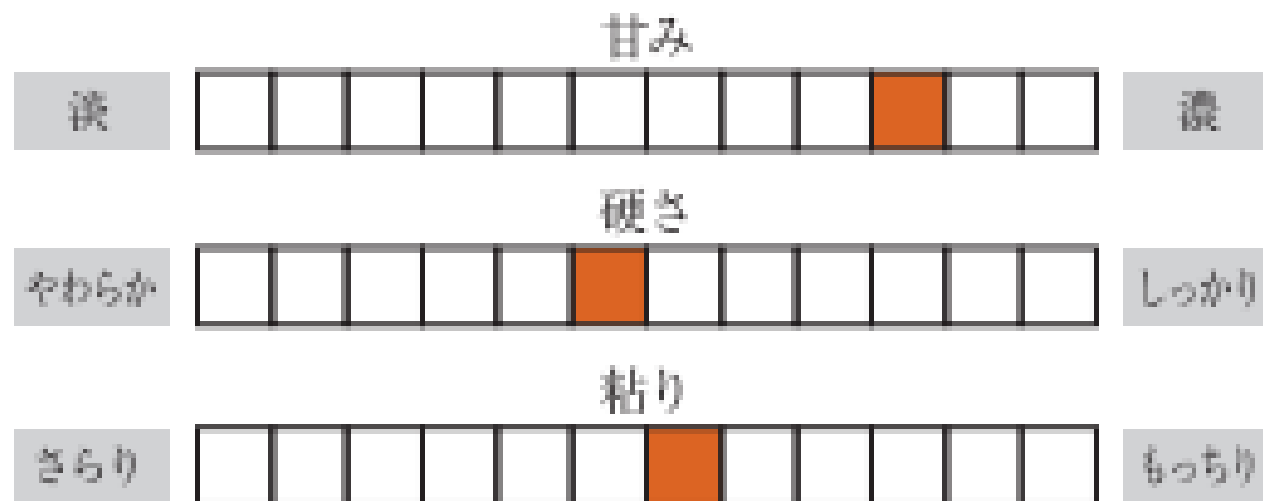
YES! clean米

作付面積 : 215.61 ha

北海道米「ななつぼし」

バランスに優れた味わいと冷めてもおいしい特徴を持ち、北海道で最も食べられているお米です。

食味評価



良食味米の安定生産・環境保全型農業への取り組み

クリーン農業の主な取り組み

- ①高度クリーン栽培米
- ②特別栽培米
- ③YES！ clean米 （詳細、以下参照）

化学薬剤	慣行栽培	高度クリーン	特別栽培米	YES！ Clean
化学農薬※	22成分	5成分以下	11成分以下	11成分以下
化学肥料	10kg	5kg以下	5kg以下	20%以上減

※化学農薬の使用成分数

田んぼの生き物調査(クリーン水田の証明)



空知農改センター 新十津川で子供たちと調査

トンボなど31種採取



田んぼに生き物
いっぱいいるね

調査した田んぼは、稲作の歴史が長い。昔は、田んぼには生き物がたくさんいました。でも、化学農薬や化学肥料の多用で、生き物が減ってしまいました。クリーン農業では、化学農薬や化学肥料の量を減らし、生き物を大切にする取り組みをしています。その結果、田んぼに生き物がたくさんいることがわかりました。これは、クリーン農業の大きな成果の一つです。

※「北海道新聞」記事

新十津川町クリーン米生産組合は、**環境負荷軽減**に向けた農業を実践しております。
 土壌分析結果に応じ、堆肥や有機質肥料・化学肥料の施肥方法を考え
 徹底した**土壌の管理**を行っています。
 更に環境負荷軽減に向けて**有機質肥料**として堆肥を用いた
 「**堆肥特裁**」にも取り組んでおります。

15 陸の豊かさも
守ろう



土壌分析



農薬選定・面積会議

新十津川町クリーン米生産組合の活動



生育調査

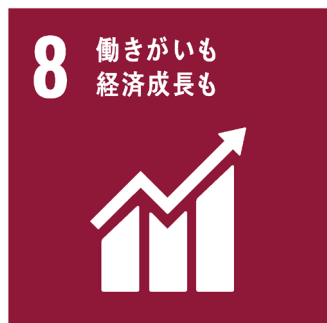


幼穂形成期判定会



出荷反省会

新十津川町クリーン米生産組合は、より良質な栽培を目指すことを目的に
水稲生産技術の修得、品質向上に関する研究、
各種情報交換、販売促進等を行っております。



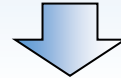
@JAPINNE.URAUSUCLEAN

生育・農作業情報を **instagram** にて公開中！！
浦臼町クリーン米生産組合で検索！

地域農業の問題に対する新たな取組みについて

地域農業における特に大きな問題点

- ・ 農業者の高齢化や農家戸数の減少、担い手不足の深刻化（農地流動化に大きく影響）
- ・ 大規模経営や法人化といった経営体の変化に伴う労働力不足の深刻化



令和5年産からは、構成員による密播中苗（高密度播種）の試験栽培を行っており、今後の省力化栽培に向けて取り組みを進めております。

日本の農業を変える
しんとつかわ
Shintotsukawa

スマート農業
技術の開発・
実証プロジェクト

高品質・良食味米生産を目指す
家族経営型スマート農業一貫体系の実証

Shintotsukawa smart-agriculture

農業新時代

本プロジェクトは、水稲栽培の耕起・播種から収穫・乾燥までの全作業をスマート農業の先端技術を活用し、実証する今年度から3か年の事業です。

高品質・良食味米生産を目指す！
家族経営型 **スマート農業** 一貫体系の実証！

「新」津川町スマート農業推進コンソーシアムを設立し、東証上場である自治体農協を中心に取り組みます。本町は農家の皆さんの努力により、北海道有数の米どころとして高品質・良食味米生産に意欲的に取り組んでいますが、農家の高齢化などにより農家戸数が減少し、1戸あたりの経営面積の大幅低減が避けられません。農家アンケートでは、将来1戸あたりの約30ha規模の経営が予測されています。本町の農家のほとんどが家族経営であることから、家族経営をモデルとした秀穂米と良食味・良食味米生産を基に、30haを見据えた大規模水田をスマート農業の先端技術を活用することで、プロの農家の優れた技術とデータを活用し、米の収穫のほかに歩も活発であるスマート農業技術の確立を目指します。また、このプロジェクトを推進し、JA、町内農協関係団体が一体となった「オール新津川」で取り組み、スマート農業技術の普及・推進活動を展開していきます。

クボタスマートアグリシステム(KSAS)
※播種の前後が確かな農事計画をリポート

【農業機械作業グループ】
KSASの農業機械と人に接続したAIにより、作業を自動化・省力化し、作業効率を向上させ、農家の負担を軽減します。

センシング用ドローン

高精度なGPSと自動操縦技術により、1人で広大な水田を飛行させ、データを収集します。収集したデータは、農家の作業効率向上に活用されます。

直進アシスト田植機

GPSの位置情報を利用して、田植機の走行方向を自動で制御します。GPSの位置情報から、田植機の走行方向を自動で制御し、田植機の作業効率を向上させます。

自動給水装置(田門)

水田の自動給水装置(田門)は、水田の水位を自動で調整し、水田の水位を一定に保ちます。

水田センサー
気象センサー

水田センサーは、水田の水位を自動で調整し、水田の水位を一定に保ちます。

自動運転アシストコンバイン

GPSを利用して、自動運転アシストコンバインは、水田の作業効率を向上させます。



調製施設

RICE BOX21



玄米

浦臼町ライスターミナル



玄米・もみ

米低温自動ラック倉庫

- ラック規模
18列×32層×14段=7,000棚
- 最大荷重
1,800kg/パレット(MAX)
- 冷却能力
4,300Kcal/h×4台



浦臼町RTラック倉庫

収穫後、施設に運び込まれた原料は、異物除去等の調製を行い、均一な品位に仕上げられます。ラック倉庫の設備により顧客ニーズに合わせた、きめ細やかな仕分対応が可能です。

施設	荷受形態	処理能力	色彩選別機(異物除去)
RICE BOX21	粗玄米	9,120トッ	240ch×2基(26年度)
浦臼町RT	半乾粗 粗玄米	2,530トッ 7,000トッ	240ch×3基(28年度) 120ch×3基



色彩選別機



低温貯蔵サイロ
(300トッ×8基、浦臼町RT)

12 つくる責任
つかう責任



選ばれる米作りのために①

より高品質なお米を供給するため、
北海道内では1.85mmや1.90mmの網目が多い中、**1.95mm**での大粒調製を実施！

歩留まりよりも良食味を追究した、
食べ応えのある**ななつぼし**を
お届けいたします！



選ばれる米作りのために②

品位別仕分集荷の完全実施

～オーダーメイドの米づくり（タンパク・整粒）

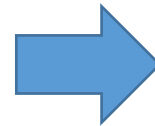
農家から搬入される米は品質にはバラツキあり！

いかに均質化し、指定される品位に仕上げるかが重要なのです！

①食味仕分

②整粒歩合による仕分

③1等基準に満たない品位仕分



1品種につき 3 5 種類以上の仕分

このきめ細やかな仕分と徹底した均質化で
お客様のニーズを叶えます！

これからも「選んでいただける産地」を目指して！

17 パートナースhipで
目標を達成しよう

